実践校に関する事項						
学校区分	学校名	学校長名				
小学校	上富田町立 岡小学校	山本 義二				
学校所在地						
	(〒 649-2101) 和歌山県 西牟婁郡上富田町 岡 638-1 tel 0739(47)2027 fax 0739(47)6114					
	担当者名	役職名・担当教科				
泉 翔太郎		教諭・図工				

研究実践に関する事項

対象者児童・生徒	学習支援者等 (延人数)	主な活動場所	
1 学年 6 年生 1 5 名	4名 職員 4名	岡小学校	

実践研究テーマ

地域との関りを深め、ふるさとを愛する心の育成

実践教科等名	単元名		
総合的な学習の時間	世界に誇る「紀伊山地の霊場と参詣道」、自分たちが魅力を伝えよう!		
「岡の歴史を探ろう」			

[キーワード] 世界遺産学習 ふるさと学習 地域の歴史 地域の交流

〔単元目標〕

- (1)ふるさとの歴史や文化、世界遺産について学習し、学習したことを発信することができる。(表現する力)
- (2)活動を振り返って自己評価ができ、自分のよりよいあり方、生き方を考えることができる。(自己を評価する力)
- (3)今回の体験で学んだことから、自ら課題を設定し、学習を深めることができる。(課題設定の力)

〔学習に当たった全学習時間数(世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名/教材名)〕

全体 10 時間 (「 岡の歴史を探ろう 」 5 時間)

〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕

- (1)岡地区在住の方・・・地域の伝統であるひょうたん栽培や加工についての学習
- (2) 和歌山県世界遺産センター・・・次世代育成事業(世界遺産入門、現地学習)
- (3) 世界遺産マスター・・・次世代の育成事業(現地学習)

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1, ひょうたんの栽培	・地域の方とともに、ひょうたんの育成、収穫 を行う。	(学びに向かう力、人間性) 観察 自己評価
2		・収穫したひょうたんを加工し、地域の伝統文 化に触れる。	(思考力、判断力、表現力) 成果物
3		・校区内にある世界遺産「八上王子跡」を訪れ、 身近な世界遺産について学ぶ	(学びに向かう力、人間性) 観察 自己評価
4	4、世界遺産センター職員の土永氏を招き、事前学習を行う。 5、世界遺産「熊野古道」「本宮大社」を 訪問。道普請に参加。		(学びに向かう力、人間性) 観察 自己評価
5	6、世界遺産新聞づくり7、学習発表	・「紀伊山地の霊場と参詣道」について個人でまとめる。・新聞をクラスで発表する。	(思考力、判断力、表現力) 成果物

〔単元学習の成果と課題〕

自分たちが住んでいる和歌山県、そして上富田町。まずは、自分たちの身近なところである岡地区の学習から始めた。岡地区は昔から、ひょうたん作りが有名ということもあり、今年度は、ひょうたんの栽培から加工までを地域の方や、地元の高校生と協力して行った。また、学校の近くにある世界遺産の一つ「八上神社・八上王子跡」を図工の時間に訪れ、その様子や歴史的建造物を見学したり、スケッチしたりした。そのような取り組みもあり、子どもたちは、自分たちが住んでいる地域は、歴史的にとても貴重な場所であること、また、世界遺産だけでなく、地域独自の伝統が残っていることも実感したはずである。

〔世界遺産学習の効果〕

上記に述べたことからも、子どもたちは、自分たちの地域が世界的に見ても特別な場所であることを実感した。しかし、「熊野古道」や「本宮大社」を実際のスケール感で把握できている児童は少なかった。今回の「熊野古道」「熊野古道」訪問で、子どもたちは、なぜこの地域が世界遺産に指定されたのかを実感するとともに、これらは、自分たちが大切に守っていかなければならないものであると実感できたのではないかと思う。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

本校の子どもたちは、世界遺産の真っただ中で生活をしている。しかし、子ども達にとって、その感覚は希薄である。よって、「世界遺産学習」と位置づけ、意識的に学習に取り組んでいく必要があると感じる。今回の学習を通して、本校の6年生は、自分たちの地域が世界的にも貴重な場所だということを実感できたはずである。しかし、毎年、今回の事業に参加できるかどうかは不透明なところである。今後は、現地への訪問を続けられるように、学校独自で新しい取り組みをしていかなければならないと思う。















